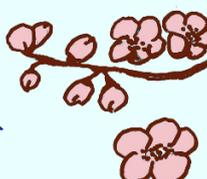

会報
藤井寺市観光ボランティアの会


〒583-0024 藤井寺市藤井寺 3-1-20 (アイセルシュラホール 藤井寺市観光協会内)
 TEL : 072-979-7881 FAX : 072-952-7806

藤井寺 観光 ボランティア
検 索



第 28 号 2025年 1月

◆ 2025年 20周年記念を迎えて

藤井寺市観光ボランティアの会 会長 松村 義子

あけましておめでとうございます。

日頃より当会の活動にご支援、ご協力をいただきありがとうございます。

昨年、前会長坂谷様が急逝され、急遽会長職を拝命することになりました。前会長の志を引き継ぎ、皆様のお力をお借りして会の運営に取り組んで参りたく思います。

さて、藤井寺市観光ボランティアの会は、本年で20周年を迎えます。これもひとえに当会の先輩たちの頑張りとは各方面からの皆さまのご尽力、ご協力のおかげと感謝いたしています。

つきましては、20周年を記念していろいろと企画をしています。そのひとつは、11月に予定している記念ウォークがあります。これは例年のウォークとは少し内容の違ったものを計画しています。参加していただいた方に、以前の藤井寺を懐かしんでいただけるようなことを盛り込む予定です。

また、アイセルシュラホールが4月にリニューアルオープンします。2階の展示室のガイドを当会がお手伝いすることになりました。

今までの「おもてなしの心」「ボランティアの精神」を大切にして、この機会にもう一段ステップアップを目指します。

今年は例年の催しだけでなく、20周年の記念イベントにもぜひご参加ください。

よろしくお祈いします。



◆ 大阪府市町村ボランティア連絡会

河南ブロック交流会

藤井寺市社会福祉協議会ボランティア連絡会から、河南ブロック交流会での講演を依頼され、10月9日に松村会長が「私たちの町藤井寺」の講演を、藤井寺市民総合会館別館で行いました。

最初に藤井寺市は大阪府で一番小さい市と紹介があり、2019年7月6日に「百舌鳥・古市古墳群」が世界文化遺産に登録され、登録された古墳49基のうち藤井寺市には16基あり、仲姫命陵古墳、仲哀天皇陵古墳などの紹介と古墳にまつわる遺跡、

藤井寺市の市章とのかかわりなど、また、国宝を持つ葛井寺・道明寺・道明寺天満宮のことなど、藤井寺市のことを楽しく聞いていただきました。

最後には、「まなりくん」も登場し「かわいい」と人気者でした。そのあとのグループに分かれてのグループワークでもよく分かって、楽しかったと好評でした。交流会帰り、お見送りの「まなりくん」は、「写真と一緒に撮って」の人だかりがあり大人気でした。

(藤村)



◆ 新幹事の紹介と抱負

副会長 岡田 行史

2011年度入会と観ボラ歴は長いにもかかわらず、古市古墳群世界遺産登録直前に世界遺産部を担当し、過去1年間だけ副会長を務めたこと以外あまり会の運営に携わることもなかったのですが、この度、再び副会長を拝命しました。

アフターコロナにははまだお客様数の回復が鈍く、世界遺産登録の賞味期限も切れたのかも知れませんが、これは日常に戻ったということかと思えます。

様々なお客様に来て楽しんで頂き、地域も活性化し、会員自らもやりがいをもって楽しめるよう、藤井寺市担当部署や関連団体、地元の神社・仏閣等、また大阪・奈良歴史街道「ルーウォーク」や河内の観光ボランティアガイドの会連絡会など、対外的な折衝・交流活動がスムーズに進むよう、会の運営や仕組みができるだけシンプルでわかりやすいものになるように、松村会長を支えていきたいと考えています。

イベント部 野久保 芳郎

このたび2024年度より、イベント部の幹事をさせて頂いております。

イベント部が担当しています2大行事のひとつは、毎年2月に道明寺天満宮での梅まつりです。もうひとつは、毎年4月に西国第五番札所の葛井寺での藤まつりです。

いずれも、観光ボランティアの会のテントでは、境内や周辺の古墳の説明、ご希望による境内のミニガイドも行います。

安全第一を大原則としてこれらのイベントを実施してまいります。また、部内メンバー間で意思疎通をはかり新たな企画を考案していきたいと思えます。

皆様のご支援、ご協力をよろしく申し上げます。

◆ イベント部活動報告 “まなりくん” の中の 足立 正行

毎年恒例の藤まつりが4月13日(土)～4月21日(日)の期間、葛井寺の境内で開催されました。

今年の藤の花は気候の具合なのか、例年に比べて少し咲き具合が短かったり、色褪せしたりして少し残念だった気がします。近所の家族連れや遠方からの人々が、訪れて下さって無事終了することができました。

その期間中、“まなりくん”の着ぐるみを着てお客様を出迎えたのですが、“まなりくん”の中から見た人々の表情や行動がとても印象深く思い出せます。

ハイタッチをしてくる人、記念写真をねだる人、腕を組んでくる人など、和やかな良い雰囲気です。おじさんの私にとっては体験できない幸せな世界感で、うれしい様な気持ちになりました。

人の心は見栄や体裁、恥じらい等で、鎧のようなものを身にまとい自分自身を自ら窮屈にしているように感じます。“まなりくん”のような着ぐるみを着ていると誰にも見られて無い安心感からか、日ごろの自分でない人の対応やジェスチャーをしているうちに、それに応じてくれる人の温かい気持ちや仕草が伝わって来るのを感じられてとっても気分が良かったです。

藤まつりは藤の花が主役ですが、見物に訪れた人々、お世話頂いた皆様、そして一役買った“まなりくん”の胸の内に藤の花にも負けない花が咲いたのではないのでしょうか？



2020年からのコロナ禍が収束し、やっと通常のガイドができるようになった昨年から一段とギア・アップした一年でした。

● 南大阪国際語学学校 2月2日（金） 生徒さん36人をガイド。

4コースに分けて葛井寺、道明寺天満宮、応神天皇陵、シュラホールなどをそれぞれ見学。お客様は全員外国から来た方々で日本語が十分通じるか心配でしたが、案ずるよりも何とやら、しっかりとガイドの内容を理解し興味津々で聞き入っていただきました。

さらに、このガイドで聞き取った内容は彼らによって編集、YouTubeにもアップされ、またポスター発表もされました。素晴らしい国際交流になりました。今年は2025年関西万博の年、こういう国際的なガイドは増えていくだろうと思われれます。楽しみです！

● ふじいでら春季ウォーク 2月18日（日）

100名もの参加者をお迎えしました。

「至高の御仏に出会う」をテーマに道明寺地域を歩きました。当日は晴れ、予想以上の参加者で大成功でした。道明寺では尼様からの説法で、お寺のこと、道真公とのお寺、国宝十一面観音様のことなどお伺いすることができました。参加者全員が聞けなかったのは残念でした。

個人的には大学時代の友人が数名参加してくれたのが大変ありがたかったです。梅が見ごろを迎えており天満宮の梅園、古室山古墳周辺など最高のウォークとなりました。



● 世界遺産学習フィールドワーク

5月10日（金）から6月12日（水）

春、新年度を迎え藤井寺市内の小学校7校で、6年生を対象に順次フィールドワークが実施されました。これは藤井寺市教育委員会学校教育課、文化財保護課、そして我々観光ボランティアの会が協力して毎年（コロナの時期は中止しました）実施してきているものです。

今回も小学生たちは地図を頼りにコースをたどって、示された場所に立っているガイドの説明をしっかりと聞いてくれました。



● 藤井寺市立第三中学校のフィールドワーク 11月1日（金） 1年生180人

この学習は生徒全員を30のグループに別れて、それぞれが市内を巡りガイドポイントでガイドから話を聞くという初めての試みでした。観光ボランティアの会も初めてで戸惑いも多くありましたが、生徒たちは熱心にガイドの説明を聞いてくれて楽しいフィールドワークになりました。

* このように大掛かりなガイドもありましたが、一方で個人、複数人の方へのガイドもたくさんありました。そのどれもが貴重な思い出として各自の心の中にしまわれていると思います。

旅の移動手段はいろいろあります。歩き・自転車・バイク・マイカー・バス・飛行機など、私にとっては電車が最高、なかでも鈍行がベストです。リタイアしてからは「青春18切符」を利用することが多くなりました。一日乗り放題で天王寺から金沢・鳥取・名古屋・丸亀・白浜まで、日帰りの往復でたったの2,410円という驚くべき安さです。

缶ビール片手に車窓の景色を楽しみながらのひとり旅は、なにものにも代えがたい至福の時です。また、気のあった者同士、特に飲み仲間との旅は特別です。列車が大阪市内を離れると同時に、持ち込んだ缶ビールのプルトップを、シュワーと開ける瞬間が最高！（時と場所を選ぶが…）

その際大事なことはいかにして座席を確保するかということです。行先によっては2時間以上必要な時もあり、ましてシニアの場合は必須の課題です。そのための「傾向と対策」は、乗車する電車・発車時刻・乗車ホーム・乗換駅・着時刻はもちろん、それぞれの駅での乗車位置・降車位置の確認です。東に向かう時は尼崎から乗車、西に向かう時は新大阪から乗車というように、大阪駅からひとつ反対方向の駅から乗車して、大阪駅でたくさんの乗客が降りるのでそこが狙い目です。

この冬も雪見ツアーを実施したいと考えています。というところで終わりにしようとおもいきや…。JRから衝撃的なニュースが発表されました。この12月(2024年)から「青春18切符」の運用ルールが変わるといなのです。大きな変更点は、①従来は夏休み・春休み・冬休み期間中、何回にも分けて使用できたのが、連続した5日間(又は3日間)に限る。②一枚の切符で複数人(2人から5人)利用できたのが、一人しか使用できない。ということです。

これぞ「青天の霹靂」「驚天動地」「うそやろ？そんなばかな！」わたしにとっては「103万円問題」以上の問題です。ネット上では「絶対反対」のオンライン署名の運動がスタートしていますが、どうなることやら…。しばらくは8時間・580kmの大名旅行を140円でコースを変えて、たのしむことにしましょうか…！

● 明石海峡大橋の体験見学会に参加して



明石海峡大橋の建設にあたっての詳しい説明を聞き、普段立ち入ることのできない管理用通路と主塔に向かう。

ビルの10階にあたる171段の階段を登るところからスタート。登り終えたところが管理用通路。上は自動車道、下はグレイチング張りの格子状の通路、海面まで65m、1歩踏み出すと足がすくみ怖い気がしたが、進んでいくとだんだん慣れてくる。美しい海面、眼下には航行する船を真上から見られるのもここだけ！



1km歩いて主塔に向かう。

エレベーターに乗り継ぎ塔頂へ(どんな景色か期待しながら)上り、外に出ると大迫力の絶景が、まさにここでしか見ることのできない感動！！

下を走っている車がミニチュアのように。明石や神戸の街並み、淡路島を見渡し滞在時間15分の未知の世界を楽しむことができました。(足立 敦)